

探究活動の成果を県政に活かすべく、県知事に提案！

◇7月13日（月） 「若者未来デザイン会議」で2グループが政策提案

江崎禎英岐阜県知事が政策の1つとして取り組んでいる「若者未来デザイン会議」が、本校にて実施されました。

同会議は、こどもや若者と知事が、県政や社会問題などについて意見交換する場として開催し、聴取した意見及び提案を施策に反映することと、議論すべきテーマを検討した上でテーマに基づく提案等をした生徒や学生等が、県の施策等への反映を通じて、社会参画への手ごたえを得ることを目的としています。

今回は、子どもの権利条例と平和の語り部の2グループが政策提案をしました。子どもの権利条例グループは、これまで取り組んできた関市こどもの権利条例を理念条例として県でも制定することと、すでにある岐阜県こども計画と併せてこども政策を広めていくための具体策を提案しました。平和の語り部グループは、「戦争遺跡と証言に関する基礎調査事業」の実施と報告書の刊行、「戦争遺跡の評価・保存活用の基準」の検討の2点を提案しました。

どちらのグループもこれまで取り組んできた探究活動の成果を県政に活かすための提案をし、知事からの難しい質問にも回答し、とても充実した会となりました。

